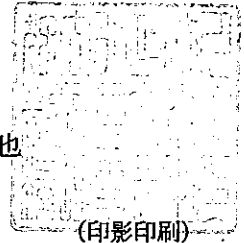


独 教 研 第 1 2 号  
平成 3 1 年 1 月 2 1 日

各 都 道 府 県 知 事 殿

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高 岡 信 也



(印影印刷)

平成 3 1 年度道德教育指導者養成研修（中央指導者研修）の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成 3 1 年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

受講者の推薦がある場合は、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、[様式 1]「推薦名簿」を実施要項に記載の期日までに、電子メールにて、下記宛て御提出ください。実施要項等は、当機構 Web ページ (<http://www.nits.go.jp/training/002/016.html>) よりダウンロード可能となっております。

なお、本研修の目的は、各学校・地域において、研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等を受講者が行うことです。研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。受講者には、研修終了 1 年後に成果活用状況について調査いたします。

(問合せ先)

独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター

研修事業課研修プロデュース室（小林、宮内、小野）

TEL: 029-879-6972、6642 FAX: 029-879-6645

e-mail: produce@ml.nits.go.jp



## 平成31年度道德教育指導者養成研修（中央指導者研修）

### 実施要項

#### 1 目的

道德教育を担当する指導主事等に対し、校長のリーダーシップの下、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育や道德教育推進教師を中心とした全教師による協力体制の充実と道德教育の展開、実践活動や豊かな体験活動の充実、「特別の教科 道德」の指導と評価等について、必要な知識等を習得させ、各地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

#### 2 主催 独立行政法人教職員支援機構

#### 3 共催 文部科学省

#### 4 期間 第1回 平成31年5月13日（月）～平成31年5月17日（金） 第2回 平成32年1月20日（月）～平成32年1月24日（金）

#### 5 会場 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター 〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

#### 6 定員 各回 100名（5ユニット）

#### 7 受講者

##### （1）受講資格

事前に研修成果活用計画書を作成し、その内容を研修終了後1年以内に実施できる者

##### 【第1回】

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ② 高等学校及び特別支援学校高等部の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって「道德教育指導者養成研修（ブロック別指導者研修）」等の講師等としての活動を行う者

##### 【第2回】

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ② 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、「道德教育指導者養成研修（ブロック別指導者研修）」等の講師等としての活動を行う者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

※「第4次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について御配慮願いたい。

##### （2）推薦人数

##### 【第1回】

各都道府県（中核市分を含む）、各指定都市においては3名以内とする。

## 【第2回】

各都道府県（中核市分を含む）においては3名以内、各指定都市においては2名以内とする。  
また、各都道府県知事部局所管及び附属学校を置く各国公立大学法人においては2名以内とする。

### （3）推薦手続

推薦期限は、【第1回】 平成31年 3月 7日（木）

【第2回】 平成31年10月24日（木）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構宛てに、[様式1]により推薦を行う。

### （4）受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

## 8 研修内容

1、2日目は、講義から、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育や道徳教育推進教師を中心とした全教師による協力体制の充実と道徳教育の展開、実践活動や豊かな体験活動の充実について理解を深めるとともに、事前課題等をもとに協議を行い、道徳教育推進上の課題意識を高める。

3、4日目は、校種ごとの部会に分かれ、小学校・中学校部会においては「特別の教科・道徳」の指導と評価等について、高等学校部会においては人間としての在り方生き方に関する教育について、演習・協議を通して理解を深め、地域における道徳教育推進のリーダーとしての指導力を高める。

5日目は、研修成果を活用した研修プランの作成等を行い、道徳教育を推進するリーダーとしての自覚を深める。

## 9 事前課題

演習・協議用資料として、事前に課題（研修成果活用計画書を含む）を作成し、提出すること。

なお、内容、提出期限、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

## 10 その他

（1）所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

（2）本研修は、原則として宿泊研修とし、教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。研修及び宿泊に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

（3）推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保の配慮をすること。

平成31年度 道徳教育指導者養成研修（第1回中央指導者研修）

日程表

【1日目】									
8:45	9:15	10:00	11:15	11:30	12:30	13:30	14:45	15:00	17:00
5月13日 (月)	受付	オリエンテーション	講義1 「道徳教育の基本的 充実に向けて」 文部科学省初等中等教育局 教育課程課	休憩	講義2 「今、求められる道徳教育の充実を目指す」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 教科調査官	休憩	協議1 「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育推 進上の課題－情報交換・課題の共有－」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 教科調査官	休憩	17:00
			◎目的： 道徳教育の基本的充実に向けて 道徳教育の最新の動向を理解する。		◎目的： 学習指導要領の趣旨を踏まえ、道徳教育の現状と課題について理解するとともに、推進の在 り方について理解を深める。		◎目的： 道徳教育を推進するリーダーとして、道徳教育推進 の課題を明確に する。		
【2日目】									
8:45	11:00	11:15	11:45	12:45	15:00	15:15	17:00		
5月14日 (火)	講義・事例発表・講評1 「実践活動や体験活動を通じた道徳教育」 事例発表校 小学校： 中学校： 高等学校： 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 教科調査官	休憩	講義・事例発表・講評2 「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の実践と課題」 事例発表校 小学校： 中学校： 高等学校： 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 教科調査官	星食・休憩	協議2 「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推 進するリーダーとして」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 教科調査官	休憩	◎目的： 道徳教育を推進するリーダーとして、道徳教育推進 のための方法を考える。		17:00
			◎目的： ・道徳的実践の学習活動の場としての特別活動について理解 を深める。 ・特別活動における道徳教育の具体的な事例を通して、学校の 教育活動全体を通じて行う道徳教育についての理解を深め る。						
【3日目】									
8:45	10:15	10:30	12:00	13:00	13:00	17:00			
5月15日 (水)	講義3 「『特別の教科 道徳』の充実 に向けて」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	休憩	講義4 「『特別の教科 道徳』の指導と評 価」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	星食・休憩	演習・協議1 「『特別の教科 道徳』の授業づくりとその評価－協議・課題解決の検討－」 〈中学校部会指導助言者〉	17:00			
	◎目的： 「特別の教科 道徳」の指導の基 本方針について理解を深め、授業改善 の視座を持つ。		◎目的： 「特別の教科 道徳」の指導と評価に ついて理解する。		◎目的： ・「特別の教科 道徳」における指導の取組事例について理解を深め、授業改善の視座を 持つ。 ・「特別の教科 道徳」の指導と評価について理解を深める。 ・年間学習計画（指導を含む）の改善のポイントについて理解する。				
5月16日 (木)	講義3 「人間としての在り方生き方に関 する教育の展開」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	休憩	講義4 「高等学校における道徳教育の充実 に向けて」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	星食・休憩	演習・協議1-1 「学校の教育活動全体を通じて行う人間とし ての在り方生き方に関する教育の展開－協 議・課題解決の検討－」 〈指導助言者〉	17:00			
	◎目的： 高等学校における道徳教育の在り方につ いて理解を深める。		◎目的： 高等学校における道徳教育の動向を理 解する。		◎目的： 「人間としての在り方生き方に関する教育の 各教科等における具体的な教材研究・実践－ 協議・課題解決の検討－」				
【4日目】									
8:45	12:00	13:00	13:00	17:00					
5月16日 (木)	演習・協議2-1 「『考え、議論する』道徳の実践Ⅰ－学習指導案の作成・検討－」 ◎目的： 「特別の教科 道徳」における学習指導案作成等に取り組むことを通じて、主体的・対話的 で深い学びを実現する多様な指導方法を取り入れた授業改善のポイントや、各教科・地域に おける指導助言の在り方等について理解を深める。	休憩	演習・協議2-2 「『考え、議論する』道徳の実践Ⅱ－模擬授業の発表・協議－」 ◎目的： 模擬授業を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する多様な指導方法を取り入れた授業改善のポイン トや、各教科・地域における指導助言の在り方等について理解を深める。	星食・休憩	演習・協議2-2 「人間としての在り方生き方に関する教育の実 践Ⅱ－全体計画等の改善策・展開例の発表・協 議－」	17:00			
	◎目的： 全体計画等の検討および発表を通して、高等学校における道徳教育を充実するための知識・方法を 得る。								
【5日目】									
8:45	11:30	12:30	15:00	15:15					
5月17日 (金)	演習・協議3 「『考え、議論する』道徳の実践Ⅲ－代表班による模擬授業の発 表・協議－」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 教科調査官	星食・休憩	講義・演習 「道徳教育を推進するリーダーとして－研修プランの作成－」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 教科調査官	閉講式					
	◎目的： 【小中大会】代表班による模擬授業を通して、「特別の教科 道徳」の指導の展開方法 や各教科・地域における指導助言の在り方等について理解を深める。 【高校部会】小・中学校における「特別の教科 道徳」の実践について理解を深める。		◎目的： 本研修を振り返りつつ、研修成果を活用した研修プランを作成し、道 徳教育を推進するリーダーとしての知識を深める。						

※日程等については変更することがあります。

## 表 程 目

※日程等については変更することがあります。

平成31年度道徳教育指導者養成研修(中央指導者研修) 推薦名簿

(都道府県市等名)

第 回中央指導者研修 開催期間 年 月 日～ 年 月 日

推薦 順位	氏 名	フリガナ	年齢 (※注1)	性別	所 属			住所	所属機関種別 (※注3)	希望部会 (学校種) (※注4)	電話番号	道徳教育 に関する 経験年数 (※注5)	備考
					名 称	職 名 (※注2)	郵便番号						
<記入例>													
1	仁津 花子	ニッツ ハナコ	45	女	〇〇市立〇〇小学校 道徳教育委員会	指導主事	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇 〇-〇-〇〇	教育委員会	小	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	5年	
2	〇〇 〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇 〇	〇	〇	〇〇市立〇〇小学校	校長	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇 〇-〇-〇〇	小学校	小	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	7年	
3	〇〇 〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇 〇	〇	〇	〇〇市立〇〇中学校	教諭	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇 〇-〇-〇〇	中学校	中	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	4年	
4	〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇	〇	〇	〇〇〇教育センター 〇〇課	〇〇主事	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇 〇-〇-〇〇	教育委員会	中	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	4年	
5	〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇	〇	〇	〇〇〇大学大学院	学生	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇 〇-〇-〇〇	大学院	小	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	3年	

担当者氏名	担当者電話番号
担当者フリガナ	担当者住所
担当者所属	e-mailアドレス

注1) 年齢は、平成32年3月31日現在で記入してください。

注2) 教職大学院の学生に当たっては「職名」欄には、「学生」と記入してください。

注3) 教職大学院の学生に当たっては「所属機関種別」欄には、「大学院」と記入してください。

注4) 「希望部会(学校種)」欄には、所属を希望する「小」、「中」、「高」のいずれかの学校種を記入してください。※高等学校部会は第1回のみ開設します。

注5) 「経験年数」欄には、道徳教育推進教諭の経験年数又は道徳教育に関する業務を担当した年数を必ず記入してください。(両方経験された方は合計年数を、また、1年未満の場合は0年と記載)

※この名簿は、本研修への受講者推薦に際し、都道府県市等が使用するものであり、それ以外の目的で使用しません。

事 務 連 絡

平成31年1月21日

各都道府県教育委員会教育長  
各指定都市教育委員会教育長  
各中核市教育委員会教育長  
各都道府県知事  
附属学校を置く各国公立大学法人の長  
教職大学院を置く各大学の長  
殿

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター

#### 受講者の推薦について

実施要項でもお知らせしたとおり、当機構が実施する研修は、受講者本人のスキルアップのみを目指すものではなく、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校等への指導・助言等が受講者により行われることを目的としています。

これらの趣旨を御理解いただき、各学校・地域等において研修成果を御活用いただける方の御推薦をお願いいたします。また、推薦された各教育委員会等におかれましては、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の御配慮をいただきますよう、あわせてお願いいたします。

なお、受講者の推薦人数が定員を超えた場合は、受講者数の調整をさせていただきます。御推薦いただく際には、推薦名簿の上から優先順位順に御入力いただくようお願いいたします。さらに、本研修では、小学校、中学校、高等学校の部会別に演習等を行う予定となっております。それぞれの部会に1名以上となるよう調整の上、御推薦ください。

(問合せ先)

独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター

研修事業課研修プロデュース室（小林、宮内、小野）

TEL:029-879-6972, 6642 FAX:029-879-6645

E-mail: produce@ml.nits.go.jp